



この夏は、企画展「土器ドキモンスター大集合」をはじめ、ハニ・ワトリーのミュージアムキャラクターアワード初参加など、キャラクターづくしでした。そして、今年は昭和元年から数えて100年の節目を迎えます。これまで当館が収集してきた昭和期の資料を一堂に展示する企画展「昭和のカタチ」を開催しますので、お楽しみに。



電気扇（日立・昭和10年代）



昭和 和 の カ タ チ

昭和 和 の 企 画 展

10月9日^{（金）}
▼
12月20日^{（日）}



電子ジャー（タイガー・昭和47年）



白黒テレビ（ゼネラル・昭和29年頃）



テープレコーダー（ソニー・昭和44年）



洗濯機（富士電機・昭和30年代）



ファミリーコンピュータ（任天堂・昭和58年）、スーパーマリオブラザーズ（任天堂・昭和60年）

令和8年は、昭和元年から100年の節目を迎えます。昭和期には、戦争の惨禍を経験する一方、その後の目覚ましい経済成長によって暮らしは大きく変化し、その歩みは現代へとつながっています。この激動の時代の中で、エネルギーの転換とともに次々と誕生した電化製品や便利な生活用品は、当時の暮らしに変化をもたらし、モノが暮らしを変えていきました。そこには現代とは明らかに異なる「昭和のカタチ」が存在しています。

本企画展では、当館がこれまで収集してきた昭和の生活道具の資料を通じて、その時代にしか生まれない様式「昭和のカタチ」から、私たちの暮らしにつながる昭和という時代に焦点を当てます。急速な変化と多様化、そして想定外の時代である現代だからこそ、昭和という時代をどのように捉えることができるのかを考えます。

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

休館日：月曜日（月曜日が祝日は翌日）9月15日（火）～23日（水）は工事と消毒で臨時休館

開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時30分） 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98

電話 0270-63-0030 FAX 0270-63-0087 Email: siryokan@city.isesaki.lg.jp 入館無料